

---

## Fate/Frandle

&gt;&gt;301

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

F a t e / F r a n d l e

### 【Nコード】

N 2 8 4 2 B A

### 【作者名】

<<301

### 【あらすじ】

つい流行に流されてやってしまった

タイトルどおりフランがキャスターとしてよばれます。

もちろんマスターは雨生龍之介です、そして仲がいいです。（キャ

スター組は仲がいいのが通例ですからね）

結構 人死ぬのでグロ注意です そうというのがいやな人は読まないことを推奨

## 悪魔の妹

その少女はそこにいる

もはや己がどれほどここにいるかも分からず

どうして己がここにいるのか理解できずどうやってここから出るのかを知らず

だけど やりたいことは決まっについて

そして 彼女はその願いを叶える声を聞く

満ったせつ 満ったせつ 満ったして 満ったして 満ったせつと

その声を聞いた時 彼女は嗤う  
ただただ嗤う

彼女の本能がこれから起こるであろう狂気で狂喜的な宴の狂瀾を  
そしてそれが自身の快楽を満たすに足ると ルールに縛られた遊び  
などではない 本当の闘争を

そして 悪魔の妹 フランドール・スカーレットは宴の会場へと招待された

## 殺人鬼と吸血鬼

昨今 冬木市においてある猟奇殺人事件が起きている。

なんでも、被害者の血で魔法陣のようなものが描かれており、報道番組でも犯罪心理に詳しい専門家をよんでの特番がくまれていたりするのだが。

「満ったせ 満ったせ 満ったして 満ったせ 繰り返すつどに・  
・よん・ど?・・あれ・五度? ただ満たされる時を破却する・  
・だよなあ?」

そう言つて 昨今話題の殺人鬼・雨生龍之介は手元にある古い書物を確認する。

「満ったせ 満ったせ 満ったして 満ったして 満ったせ

はいー 今度こそ五度ね おっけい」

満たせといった回数をあいた右手でかぞえ 間違いのないようにし、今度は成功を確信する

そしてちようどつけっぱなしのテレビから彼のやった猟奇殺人のニュースが入ってくる

「ちよつと はめをはずしすぎちゃたかなー」

そう言つて 近くにあったソファーに手と顎をのせるようによりかかるのだが、よりかかったときに生首がおちたりしたのだがまったく気にした様子は見られない

もつとも それは当然のことと彼の注意は今 四肢を縛られた子供に向いているのだから（まあ そうじゃなくとも興味を示さないが）「悪魔つて本当にいると思うかい 坊や」

彼はソファーから離れ、子供に近づきながらそう言う

「新聞や雑誌だとさ よく俺の事を悪魔呼ばわりするんだよね  
でも それつてもし本物の悪魔がいたりしたら ちよつとばかり  
失礼な話だよねえ そこんところすつきりしなくてさ」

近づいてくるの見て少年は顔を涙で濡れた顔を歪めて、もぞもぞと  
必死の抵抗をするのだが龍之介はそんなことは関係ないとかかり子  
供のまえにしゃがみこみ

「ちゅーす！ 雨生龍之介は悪魔であります！」

と敬礼じみたポーズとり、子供のほうは言わずもがな よりいつそ  
う顔を涙で濡らすのだった

「なーんて なのっちゃって いいもんかどうか・ そしたら  
こんなモンを見つけちゃてさ ウチの土蔵にあった古文書？みたい  
なやつなだけどさ」

そう言つて 手に持つてる書物をひらひらと振つてみせる

「どうやら うちのご先祖様 悪魔を呼び出す研究をしていたみた  
いなんだよねー そしたらさー 本物の悪魔がいるか確かめるしか  
ないじゃん でもねー 何の準備もなくて茶飲み話だけつても間  
抜けな話じゃん」

そう言つと立ち上がり今度は背後の椅子にまたぐように座り話を続  
ける

「だからね 坊や もし悪魔さんがおでましたら ひとつ殺され  
てみてくれない？」

それを聞いた子供の反応は早かった今まで以上に体をくねらせ 口  
を覆ったタオルからも必死な声がもれる そして それを聞いて  
「あつはははははっ！ 悪魔に殺されるのってどんなだろうねっ  
！ 貴重な体験だっ・・・いっつて」

龍之介は笑つてる時 右手の甲に痛みがはしり奇妙なマーク・・・令  
呪がうきでた

そして 彼の描いた魔法陣から急に 光 雷 風 が縦横無尽に飛  
び交い 煙とともに何かが形づくられていく

龍之介はそれを見て笑みをうかべざるおえなかった

彼がまず見たのは 特徴的な羽 - まるで木の枝に宝石を付けたか  
のようなおかしな羽そして病的なまでに白い肌 薄い黄色の髪 赤  
い瞳 真紅の衣装

そして 呼ばれた悪魔は召喚者に

「あなたがわたしをよんだの？」

あどけなさのこる声で彼女は問いかける

これがこの聖杯戦争最大のイレギュラー組の物語が始まった瞬間で  
ある

## 殺人鬼と吸血鬼（後書き）

とりあえず今回はここまで  
文才がある人ってすごいですね W W

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2842ba/>

---

Fate/Frandle

2012年1月10日23時48分発行